

介護者だより きずな

事務局：泉南市社会福祉協議会 TEL 482-1027 泉南市樽井1丁目8-47

新年会

一月六日、あいぴあ泉南で「新年会」がありました。暖かい日で、暖房を入れたら暑いくらいの日でした。

今年、演歌歌手の小島さちさんをおよびしました。小島さんには、平成二十四年の新年会にも来ていただいています。今年でデビュー五年目だそうです。天王寺・通天閣近くの「シアター朝日」で歌っているそうですが、その他に、「ラジオきしわだ」にも出演されているそうです。



まずはおめでとう「寿三杯船」（島津亜矢）から始まり、「あばれ太鼓」（坂本冬美）と、こぶしの効いた豊かな声量で、会場を魅了しました。続いての「おんな旅鳥」と「伊東の恋情話」

での「おんな旅鳥」と「伊東の恋情話」は小島さちさんのオリジナル曲です。そしてこの後、南園枝さんと松前ひろ子の「豊後巡礼」を歌ってくれました。松前ひろ子の従兄は、北島三郎だそうです。

（*二人で歌っているように見えました）が、マイクから聞こえてきたのは南さんの声でした。）

歌は「じよんから女節」（長山洋子）

「夜桜お七」（坂本冬美）

「能登半島」（石川さゆり）

「望郷じよんから」（細川たかし）

「無法松の一生」（村田英雄）と続きます。

歌いながら客席に降りてきて、



みんなと握手をして回ってくれました。

終わりは小島さんの「女の夜汽車」「ハナミズキ節」です。ハナミズキ節はみんなで「ハナミズキ・ハナミズキ」と歌って盛り上がりました。

平和苑の利用者の皆さんも、障害者デイサービスの皆さんも、楽しんで聞いてくれました。

小島さん、すばらしい歌声をありがとうございました。



浜本

2月の つどい



○父と母が二人で暮らしています。昨年、母が2週間入院しました。退院してから、母の様子がおかしいのです。物忘れがひどくなって、幻視もみえるようになったみたいで、認知症かもしれないと心配です。

◎お父さんはしっかりされているの。

○はい、父は耳が遠いだけで、しっかりしています。ただ、病院へ行くのをいやがって、この前も歯医者へ連れていこうとしたら、出かけて帰ってこないのですよ。

☆デイサービスやヘルパーさんは利用していないの。

○デイサービスには行ってくれません。ヘルパーさんに入ってこられるのも、嫌がります。ただ、リハビリのデイサービスだけは、2人で行っています。

◎近くにお店はあるの。

○いいえ、歩いて行ける所に店はないので、私が買い物して持って行っています。でも、よく鍋を焦がすし、気になります。電子レンジでチンして食べるようにと用意をしておいても、わざわざ鍋に移し替えて温めるのです。

◎お父さんはお母さんの様子を気遣ってあげていますか。ご飯は一緒に食べているのでしょうかね。

○父は食事の支度を待たずに、食べなくなったら、あるもので勝手に食べてしまう人なので、食事をしながら会話するということも、ほとんどないですね。

□それはいけないなあ。やっぱり、人と話すのは大事やで。特に認知症になりかけの時は、しゃべることが進行を遅らせると思うで。一人にさせんことやなあ。

◆私はヘルパーさんに入ってもらって、食事や洗濯は簡単にすませてもらい、空いた時間で妻と話をしてもらおうようにしたんや。

□それから、やりたいことはさせてあげることや。母親は洗濯物を干すと言ったけど、こけたらいかんと思ひ、させんかった。させてやったら良かったなあ、今思う。

◇家内も2年前に入院したのだけど、様子が違ってきたのは、やはりそれからだと思うな。

◎ええっ、この前奥さんに会ったけど、前と変わってなかったよ。

◇いや、時々おかしいことを言いだすんや。それにガスをつけたままトイレに行って、ガスの火がつけっ放しに、なっていることもよくある。

△私の妻は認知症と診断されるまで時間がかかって、最初は高脂血症と言われていた。成人病を予防するのも大事だと思うよ。

❖私の場合は、2人暮らしの両親の様子がおかしくなって、主人が「おまえ、みてやれ」と言ってくれたので、引き取りました。でも、そのあと私は病気になりました。一時、母と主人の両方を看なければならなくなり、大変だった。母を見送り、半年後に主人も亡くなりました。でも、親を看ることができて良かったと、今は思います。

▲娘が家を建てた時、私達の部屋も作ってくれていたのと一緒に住むようになり、主人は脳梗塞で倒れたけれど、娘が手伝ってくれて助かりました。

□介護職として働いています。19年前は、認知症といえば、脳血管性認知症かアルツハイマーくらいの区別しかありませんでした。でも、今はいろんなことが解ってきています。薬も何種類か認可が下り、貼り薬もあります。専門医に診てもらって、正確な判断をもらうことです。



手紙

く おばあちゃんへ く

おばあちゃん、初めて手紙を書きます。だっておばあちゃんには字が読めなかったもの。でも、私は大学まで行ったのに、今でもおばあちゃんにはかきません。

おばあちゃんの家へ弟と引き取られたのは、私が四才、弟はまだオムツが取れてない頃だったかな。あの頃、家が貧しく、弟は近所の、子供のいない家へ養子に出されることになっていったそうです。それを不憫に思っ、引き取ってくれたのでしょう。しかも無償で。おばあちゃんはその時、六十才くらいだから、大決心だったに違いない。私にはとてもそんなことはできません。

おばあちゃんは子供の頃から、百姓の仕事をさせられ、それで、学校にも行かせてもらえなかった。それに、その時代の女の人は着物が縫えたのに、おばあちゃんは縫えなかった。おじいさんが近所から着物をもらってきて、それをほどこき、縫い方を教えてくれたと話していましたね。

私が嫁入りの時、母が持たせてくれた古い「もんぺ」があります。「これは、おばあちゃんが綿を作り、機を織って、自分で縫ったもんぺだ。捨てたらあかん」と。今もタンスにあります。

おばあちゃんは「石ころを拾うだけでも、めくらの人が石につまづかんですむ」と、幼い私に教えてくれました。いつ、どこで、そんなことを言ったのか覚えていませんが、あれはどういう意味だったの？私には「へんなこ



松本一生先生に聞きました

1, 幸せを感じる時はどんな時ですか

夜寝る直前に「ああ、明日はこれ（講演や遠方の往診、学会での発表など）をする日だな！」とワクワクすることが一番幸せです。

2, 今、一番ほしいものは何ですか

① 時間です。

これまで 25 年間で精神科医として、34 年を歯科医として過ごしてきましたが、まだ認知症への体制は始まったばかり。あと 35 年がんばって「認知症はこんなに良くなっていく病気になった」という世界を見たいので、とにかく時間が必要です。

② お金です。

今まで認知症だけを診てきて、お世辞にも経済的に安定した生活をしてきませんでした（認知症診療は時間と手間のわりに点数が低く、診療所の経営が大変です）。

家族にも不十分なことしかできませんでした。できれば少しゆとりのある生活ができるようになりたい！！

3, 子供の頃の思い出を教えてください

母が内科医・眼科医であったために祖母に育てられました。祖母は「人の役にたつ生き方をしないと、生きている意味がない」と幼いボクに教えました。

4, 「座右の銘」は何ですか

あなたがいるだけで、この世界は意味を持つ

ユダヤ人精神科医のフランクルが残した言葉で、人は皆、それぞれの存在だけでこんなにも価値があると、強制収容所における究極の絶望の中で見出した言葉です。

とを言うおばあちゃんやな」と思っていて聞いていました。ただ、今はこう思っています。「人が見ていない所で善いことをしなさい。その気になれば、いつでも、どこでも善い行いはできる」と教えたかったのだと。私、石を拾えたかしら？
働き者の、しっかき者の明治の女でした。あの世にいつて、四十年。おじいさんに会えましたか。この手紙読んでもらってね。
(景子より)

つどい

5月12日(金)

あいびあ泉南 3階研修室 2

午後1時半～

チョコボラ会

4月28日(金) 5月26日(金)

おいでや!泉南

午後1時半～

男の介護「味彩の会」

*4月7日(金) *5月5日(金)

平野台の湯 午前11時～

シニアのためのやさしいヨーガ

*4月1日(土) 午前11時～

樽井区民センター 2階B-2

*4月15日(土) 午前11時～

◎樽井公民館 大会議室

編集後記 私が幸せと思う時は「きずな」が出来上がったときです。いつも「つどい」の日、ギリギリの印刷です。次号は早くからと反省するのですが、毎回こうです。

ほしいものは時間です。「今日はあれとこれをして」と起きるのですが、半分もできずに1日が終わってしまいます。(け)

4月2日(日) あいびあの前庭で11時半からお花見をします。申し込みは3月28日までに、宇野景子(483-7002)宛てに
会費 300円